

盛岡市立高等学校における未履修教科への対応について

平成 18 年 12 月 1 日

教 育 委 員 会

1 市立高等学校における未履修の概要

- ① 対象 3 学年普通科理系 65 名（特進コース 26 名，普通科 39 名）
- ② 内容 「日本史か地理」の履修をしなければならないところを，「政治経済」を履修（70 時間が未履修）

2 経過

- ① 10 月 26 日（木）市立高校から未履修の報告を受け，今後の対応について市立高校と協議
- ② 10 月 26 日（木）市立高校において 3 学年の該当生徒に未履修の概要と今後の補習等の対応について説明
- ③ 10 月 27 日（金）市立高校において全校生徒に同上の内容について説明
- ④ 10 月 30 日（月）市立高校において未履修の概要と今後の補習等の対応について全校保護者会での説明
- ⑤ 10 月 31 日（火）教育長名と校長名で，進学先の大学や企業に対する未履修のお詫びと，既卒者への配慮，進学希望者への今後の対応についての依頼の文書送付
- ⑥ 11 月 1 日（水）市議会議員全員協議会において未履修の概要について説明
- ⑦ 11 月 6 日（月）より，日本史 A の履修開始
- ⑧ 11 月 22 日（水）担当指導主事が，学校を訪問し，履修状況について確認

※ 11 月 2 日付け文部科学省通知の概要

- ① 平成 18 年度に高等学校の最終年次に在学する生徒の未履修科目の履修について弾力的に対処できる。
 - ・ 70 単位時間以下の場合は，放課後並びに冬季及び学年末等における休業日なども活用して授業を実施すること。この場合 3 分の 2 の範囲内で授業時間を減じ，（例えば，70 単位時間の場合は 20 単位減じた 50 単位時間程度），レポートの提出等により履修したものとする事ができる。
- ② 既に高等学校を卒業した者の卒業認定を取り消す必要はない。
- ③ 平成 19 年度大学入学者選抜における調査書については，出願した後にあっては，未履修教科名等を出願先の大学に早急に連絡すること。また，出願前にあっては，調査書にその事実を明記すること。

3 履修計画

- ① 講義（50 時間分）を平成 18 年 11 月 6 日（月）～平成 19 年 1 月 31 日（水）まで行う。
 - ・ 「政治経済」等の授業を「日本史 A」に切り替える。（24 時間分）
 - ・ 平常課外の時間に講義を行う。（18 時間分）
 - ・ 集中講義を行う。（8 時間分）
- ② 課題レポート（20 時間分）を 2 月 9 日（金）までに提出させる。

4 今後の対策

- ① 市立高校では、建学の精神に基づき学校教育目標に沿った適正な教育課程の編成とその実施がなされるように、校長の責任において確認する。
- ② 市教育委員会は、運営計画書並びに報告書の確認方法を見直すとともに、担当指導主事が、定期的に学校訪問を行いながら、学校教育目標に沿った適正な教育課程の編成や授業の在り方について指導する。